

各事業部の活動目標と方針

■異業種との交流

共同セミナーの開催 イベントの協力参加

例. IFI '95名古屋 インテリア—新しいうねりの創造

世界28ヶ国参加のインテリアデザイン会議はインテリアテキスタイルを職種とする者にとって有意義な会議、

また、国際的な交流を推進するよい機会と考えられる。

場所 名古屋国際会議場

DESIGNERS AID 1995

阪神大震災 義援金を送るための「デザイナーズ・チャリティーウイーク」他のデザイン協会と協力参加

■諸外国のテキスタイル協会とコンタクトを取る。

■スポーツ、旅行、会員相互のコミュニケーションを深めるための楽しいイベントやパーティーの企画も考える。

交流委員会としては以上のようなことからスタートしていきたいと考えていますので特に海外とのコンタクトをお持ちの方は情報をご提供ください。



IFI '95 NAGOYA

Da1995
DESIGNERS AID / CHARITY WEEK

広 報

T.D.Aの広報担当としてまず4名の役員でスタートしました。このような協会活動の参加の意義は「参加することなく」「何か一つでも活動すること」に意義があります。一人でも多く活動に参加すればするほど自分自身のプラスにもなり、組織の活性化につながります。広報の活動は各事業部の皆さんや会員個々の皆さんが活動したことを記録し、広報誌を通じて会員、賛助会員の皆さんに伝えたり、また媒体を通じて、社会にアピールしていくことです。

■広報活動の組織化—リポーターのネットワーク作り

4月協会の活動開始と共に、全国の地域、産地の会員からリポーターをつのり、各産地や地域の特有の活動取材し広報誌で紹介していきます。リポーターを募集しています。

■初年度の活動目標

1. 広報機関誌「T.D.Aニュース」の発刊 初年度は年4回／4月初旬「臨時号」の発刊予定。

- イベント「INFORMATION」イベント、セミナーの案内
- 活動の報告「REPORT」イベントのレポート、セミナーの報告
- 展示会、内見会、セミナーのスケジュール

次号からは会員内の活動計画、活動報告などを中心に編集していきます。

2. 機関誌「TEXTILE DESIGN」仮称 年2回／事業計画との連携によって、テキスタイルデザインに関するあらゆる情報、作品などの紹介

- テキスタイルマーケティング情報、レポート
- 次期デザイントレンスの発表、関連機関のトレンド情報の紹介
- 会員の企画 クリエイティブ作品の紹介
- 顕彰制度、コンペティションの紹介

3. 各種媒体へのリリース／新聞 テキスタイル関連の専門誌へのT.D.A活動の紹介

4. リポーター活動と交流—各地にリポーターを配置／各種展示会、イベント、作品展などを訪問しての取材活動。関連協会との交流の援助。

5. T.D.A内のグラフィック担当として／マーク、ロゴタイプの管理。印刷物などの編集、構成。

教育／研究

テキスタイルデザインにおける教育と研究は、さまざまな分野に分かれています。新合織を始めとする最先端製造技術による素材開発、コンピュータを利用したクリエイティブなデザイン開発、CCK、CCMを活用した染色技術による色の研究。

染織工芸におけるテキスタイルアート&クラフトの分野。テキスタイルデザインは従来から、こうしたジャンルでの「色」「柄」「素材」開発の歴史の繰り返しであった。これからは多くの分野で活躍されている違ったジャンルの人達が横の繋がりを持って色、柄、素材開発に加えて、新しい機能開発も考慮にいれた研究が要求される時代である。

教育研究事業ではこうした時代背景を的確にキャッチして、従来の狭い範疇でのテキスタイルデザイン教育でなくテキスタイルのグローバルなデザイン教育研究を目指した活動を実施していきたいと考えております。皆様の積極的な参加とご理解ご協力を是非お願い申し上げます。

■初年度事業計画

- ① 教育研究部門の専門委員会の構成。
- ② テキスタイルデザイン教育者の交流を計り、各分野での研究分科会を設立する。
- ③ 人材育成のための新しいシステム作り。
- ④ 学生を対象としたデザイン教育セミナーの開催。
- ⑤ 研究発表の例会を開催する。(年2回3月/9月)